



内容についてのご意見をホームページ「お問い合わせ」より、お寄せ下さい。

<http://www.fruits-nisseikyo.or.jp/inquiry/index.php>

### 平成 28 年度輸入食品監視指導計画

平成28年3月31日、厚生労働省は平成28年度輸入食品監視指導計画及び輸入食品等モニタリング計画を公表しました。詳細については厚生労働省のホームページをご覧ください。

平成28年度輸入食品監視指導計画(生食発 0328 第1号)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000117529.html>

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について(生食輸発0331第1号)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000118753.html>

「平成28年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について(生食輸発0331第3号)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000119263.html>

「残留農薬等基準審査室」を設置します。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000118524.html>

#### 食品の種類別モニタリング計画件数

食品群	検査項目	2016年度	
		項目別	延検査
畜産食品 牛肉、豚肉、鶏肉、馬肉、その他食鳥肉等	抗菌性物質等	1,879	4,289
	残留農薬	1,191	
	添加物	118	
	病原微生物	657	
	成分規格等	415	
	放射線照射	29	
畜産加工食品 ナチュラルチーズ、食肉製品、アイスクリーム、冷凍食品(肉類)等	抗菌性物質等	2,182	10,647
	残留農薬	1,697	
	添加物	1,247	
	病原微生物	3,584	
	成分規格等	1,937	

食品群	検査項目	2016年度	
		項目別	延検査
水産食品 二枚貝、魚類、甲殻類(エビ、カニ)等	抗菌性物質等	2,572	5,465
	残留農薬	1,134	
	添加物	297	
	病原微生物	1,074	
	成分規格等	354	
	放射線照射	34	
水産加工食品 魚類加工品(切り身、乾燥、すり身等)、冷凍食品(水産動物類、魚類)、魚介類卵加工品等	抗菌性物質等	4,234	19,830
	残留農薬	4,111	
	添加物	1,894	
	病原微生物	4,661	
	成分規格等	4,930	
農産食品 野菜、果実、麦類、とうもろこし、豆類、落花生、ナッツ類、種実類等	抗菌性物質等	2,559	16,934
	残留農薬	9,190	
	添加物	474	
	病原微生物	1,495	
	成分規格等	355	
	カビ毒	2,273	
	遺伝子組換え食品	469	
放射線照射	119		
農産加工食品 冷凍食品(野菜加工品)、野菜加工品、果実加工品、香辛料、即席めん類等	抗菌性物質等	598	19,003
	残留農薬	6,800	
	添加物	4,551	
	病原微生物	956	
	成分規格等	2,648	
	カビ毒	2,774	
	遺伝子組換え食品	252	
	放射線照射	424	
その他の食料品 健康食品、スープ類、調味料、菓子類、食用油脂、冷凍食品等	残留農薬	1,074	5,971
	添加物	3,344	
	成分規格等	598	
	カビ毒	955	
飲料 ミネラルウォーター類、清涼飲料水、アルコール飲料等	残留農薬	118	2,028
	添加物	1,075	
	成分規格等	657	
	カビ毒	178	
添加物、器具及び容器包装、おもちゃ	成分規格等	1,762	1,762

食品群	検査項目	2016年度	
		項目別	延検査
検査強化食品分	抗菌性物質等、残留農薬、添加物、病原微生物、成分規格等、カビ毒、遺伝子組換え食品、放射線照射、SRM除去	10,000	10,000
総計(延数)			95,929

## リスクアナリシスに基づく有害動植物の見直しに関する

### 公聴会の開催について

リスクアナリシスに基づく有害動植物の見直しに関する公聴会が農林水産省三番町共用会議室で3月30日14時半から開催された。

説明の内容については日青協のHPに掲載しています。

日青協を始めとして、病虫害の専門家や植物防疫の専門家による5名の公述人から公述が行われ、いずれも賛成の意見であった。

要望としては、日青協から暫定検疫病虫害のリスクアナリシスの促進や検査後の病虫害の同定の迅速化について要望し、その他の公述人からは、病虫害の侵入蔓延防止のためには植物防疫対策も併せて充実する必要性やリスク評価結果の早期公表等についての要望が行われた。公聴会やパブリックコメントの結果等を踏まえて制度改正(官報掲載)は5月中下旬ごろになるものと思われる。

#### 《行事報告》

- 3/3 植物検疫4団体連絡会(荻野事務局長出席)
- 3/7 第3回産地間連携等推進検討会開催
- 3/9 ジェトロ「第9回農林水産物・食品輸出促進本部」(荻野事務局長出席)
- 3/14 九州農政局／農林水産物・食品輸出促進セミナー(荻野事務局長出席)
- 3/15 ジェトロ大阪本部／青果物輸出セミナー(荻野事務局長出席)
- 3/15 オーストラリア大使館公使・参事官(農務担当)、豪州食用ぶどう協会会長来会
- 3/17 広報・食品衛生・植物防疫3部会開催
- 3/18 公認会計士監査
- 3/18 食品安全委員会「食品安全の明日をともに考える国際シンポジウム」(川口理事傍聴)
- 3/22 コーデックスに係る国際シンポジウム(川口理事傍聴)
- 3/23 協会監事監査
- 3/29 植物防疫法施行規則の一部改正等に関する公聴会(荻野事務局長公述)